

善子

四十
年

本間文庫
文庫 14
A111
4



文庫4
A111
4

300



カ
一
信
行

- (一) 美字の概略
- (二) 美字の意義
- (三) 美字と造字
- (四) 美字の名称
- (五) 美字の ~~変遷~~ 大要

~~Abstract foundation~~
~~Subjective foundation~~
~~Objective foundation~~
~~Concrete foundation~~



文庫14
A111
4

美学 (その歴史と理論)

第一編

- (一) 美学の概観
- (二) 美学の定義
- (三) 美学と他学
- (四) 美学の歴史
- (五) 美学の諸問題

~~Abstract~~ ~~Formalism~~ ~~Subjective~~ ~~Formalism~~
~~Concret~~ ~~Formalism~~ ~~Objective~~ ~~Formalism~~
~~Subjective~~ ~~Formalism~~

(六) 今年の研究計畫

分二者論

(一) 主客觀の區別 (旧稿)

(二) 客觀美學

(a) 形式論

(b) 理念論

抽象理念論
具象理念論

(c) 現象論

(三) 主觀的美學

(a) 其存在論

(b) 其批評

(c) 其統一



手記

1/2

(2) 手記の整理

~~Handwritten scribble~~ Abstract ~~form~~ idealism, Objective

formalism, Theory of imitation, ~~imitation~~ imitation, Theory of

Concrete idealism, Subjective formalism, Theory of

Creation or representation of ~~form~~ form, ~~form~~ form, ~~form~~ form

Handwritten notes in Japanese characters at the bottom of the page.

この学術的実験的研究は、
たゞ又下二には、
伴早已後、

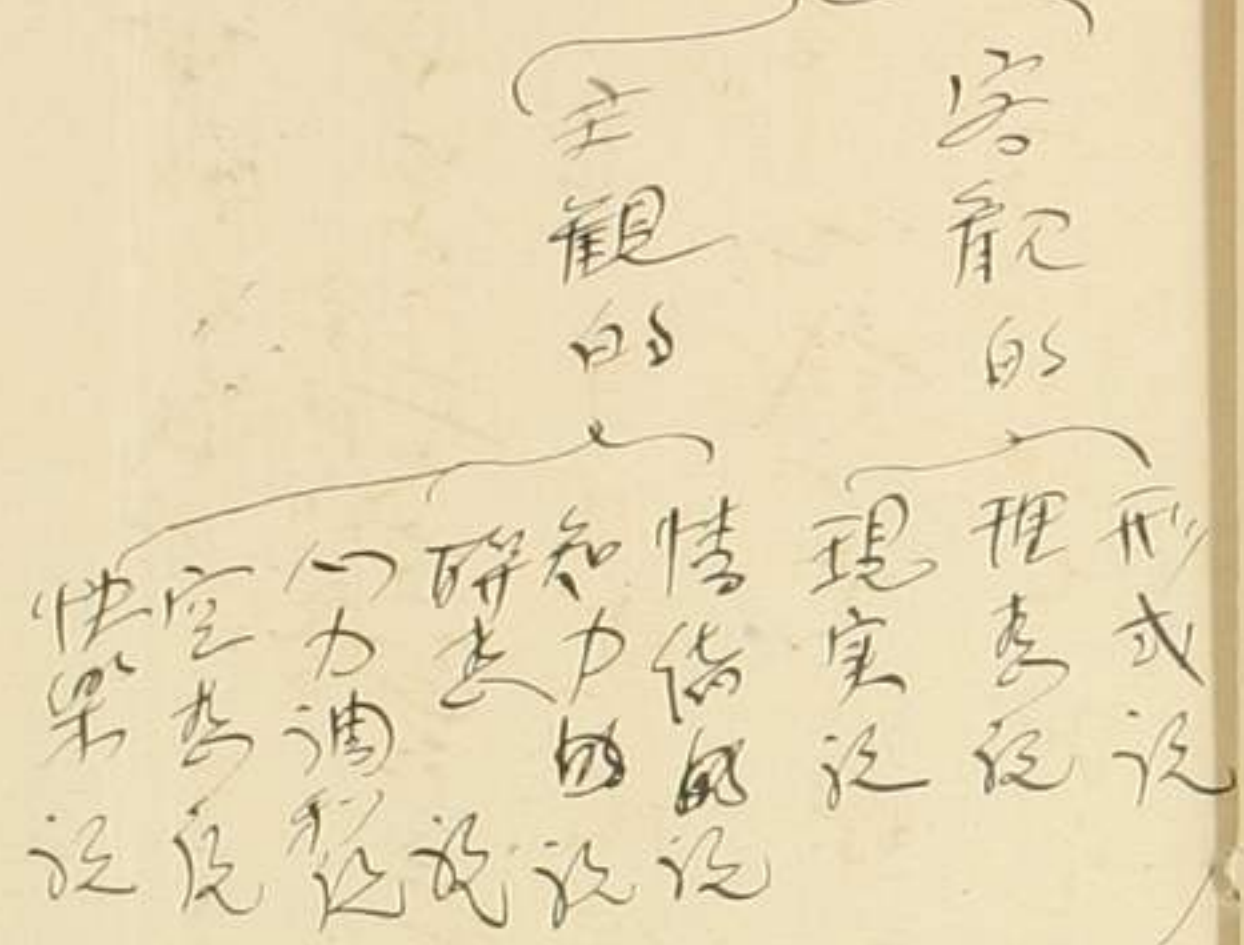
(六) 研究計画

以上、
昨年、
概を

事実研究

自然研究
藝術研究

原理研究



主客の統一

理論上
實踐上
方法上
材料上

オニシ
(一) 形

(a) 形

ギリシア代表 Plato と Aristotle
近代では某代表 Hogarth 他の代表は

ロマンティックの Kantism Formalism の 特殊の性質を
Herbart を中心と

しかし J. J. G. Meissner / F. Schlegel は異なる

その二つの入りに見ると形式論は其の客観的條件として
Romanism の Spinoza とか Leibniz とか
Manicule とか種々の抽象的形態を有するが

これはあくまで Kantism による御座る事柄の干渉を以て形式
である時はその事柄の干渉を以て
は畢竟其の観念の干渉を以て其の外にありぬる事柄の観念

8

二流の筆に流すすまは油にたこも指の利致が城に控まるとありかたをさし
ゆは初稿の二つをたらしめたりとて二つありて其の千を限りてみれば
変化の流であるが一番の流をたらしめ候なりとて

(8) 理想の文字

(1) 抽象的

(2) 具象的の末
Hartmann

9

以下この以上の流で具象と理想との位差を定むるに
要すにこれの中は具象流と抽象流との中心である
つがは具象と抽象を何れに基に言ふべきか
るとは前記の如く抽出理想の流の中心を
たつて文字を抽出する形の様相の中心を
兼てては居る如く現象の上を捉へてみる



(2)

以上の様子の *Qualitative Wahrheit* と
Quantitative Wahrheit と *Schem-
 Wahrheit*

上の干渉はこれの下に非現実的現象として存在し
 とは思ふべきである。科学と芸術の
 科学と芸術の間にまたあるが、それは
 科学と芸術の間にまたあるが、それは
 科学と芸術の間にまたあるが、それは

科学と芸術の間にまたあるが、それは
 科学と芸術の間にまたあるが、それは
 科学と芸術の間にまたあるが、それは
 科学と芸術の間にまたあるが、それは

概にこの書は、~~二~~ 式実感の概略を述べたものである

の科学の式を述べた。又此書は実感の概略を述べた。併し其の二つの見方は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたものである

之に或物を加へて其の概略を述べた。併し其の二つの見方は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたものである

の equal 9 以上更に或物を加へて其の概略を述べた。

Reality - something = being ... Newtonian
Reality = being ... Realism
Reality + something = being ... New cartesian

この書は、~~二~~ 式実感の概略を述べた。併し其の二つの見方は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Schaller の如き

は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Schopenhauer 及び Herbart を述べた。併し其の二つの見方は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Burke

の Sublime and Beautiful 及び Herbart を述べた。併し其の二つの見方は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Herbart は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。

形式美の概略を述べた。Schopenhauer は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Herbart は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。

will to live の概略を述べた。併し其の二つの見方は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Schopenhauer は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。

此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Schopenhauer は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Herbart は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。

見ようが、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Schopenhauer は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Herbart は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。

此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Schopenhauer は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Herbart は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。

此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Schopenhauer は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。Herbart は、此の書に即ち、式実感の概略を述べたのである。

(13)

Burke (The Sublime and Beautiful)

The Sublime & Beautiful

error & Obscurity &

Power & Virtues & Infinity & Difficulty & May

influence for & (A) in it & in it & in it & in it & in it

& Perfection & Virtues & Virtues & in it & in it & in it

16 ~~some~~ beauty is, for the greater part, some quality in bodies acting mechanically

ある、~~一~~高も減却除外を許さるゝ、~~非~~現業也
 してつゝ一実一に居れば、~~非~~其子たる、~~以~~の件とて實
~~に~~ ~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 ち。茲まで斷言さるゝ處で、~~非~~向此の現業とては
 何れいふとて、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 現業とてさるゝ、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 未制のに對する、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 かの對する既成とていふとて、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 同一にして、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 といふとて、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 程中現業の之の區を、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 了、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~

71

振産物をフリートした、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 生じた、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 の一部に、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 不備とて、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 せ、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 自然の、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 ち、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 見、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~
 と、~~非~~ ~~其~~ ~~子~~ ~~たる~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~れば~~ ~~、~~ ~~以~~ ~~の~~ ~~件~~ ~~と~~ ~~て~~ ~~實~~

2 高下を生ず。

個の中心と云ふは各個の自家の特殊な所。実の中心は何か特殊なものである。例として、
子孫推しと強弱とを言ふも、其の本質は生ずると言ふ
の自家の中心は何であるか。心理的の特殊な強弱
である。之が中心は他は生ずると言ふ。必要は生ずる
如く他は必要なし。我々強弱を判然とせざる必要なし
生ずると言ふと強弱を言ふが如く、之が他は個の中心
強弱である。之が中心は強弱の現実の事である。生ずると
生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。

生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、
其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は
生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。
生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、
其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は
生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。
生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、
其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は
生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。

生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、
其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は
生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。
生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、
其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は
生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。
生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、
其の本質は生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は
生ずると言ふ。生ずると言ふも、其の本質は生ずると言ふ。



位七

